

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
46	川崎市立中原小学校	小林達也

学校教育目標	今年度の重点目標
<p>楽しく学び共に育つ学校をめざして</p> <p>～ たのしく なかよく たくましく ～</p>	<p>○自ら学ぶ意欲と学ぶ力を育む学校</p> <p>○豊かな心と健やかな心身を育む学校</p> <p>○安全が確保され、地域とともに歩む学校</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 基礎・基本的な内容の確実な定着	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、基礎・基本のより一層の習熟を図り、達成感や成就感を味わわせるよう指導する。	各教科・各単元のねらいや指導内容を明確にし、年間の見通しを立てて指導に当たり、基礎・基本の習熟を図ることを念頭に教師の授業力の向上を図った。今後も継続していく。	外部講師による研修会を開くなどして、主体的で活発な意見交換等を通して、教員の技量を磨く姿勢を今後も促す。
2 継続的な指導と多様な授業展開の工夫	一人ひとりの学習状況を捉え、継続を意識した個に寄り添ったわかる授業を目指し、授業改善を行う。	少人数制やT・Tを併用しながら個に応じた指導を行い、学力向上に努めてきたが、多様な教育的ニーズに応じる体制づくりの重要性が今後もさらに求められる。	主体的な学習ができるよう教材開発や指導の工夫を図るなど授業改善にさらに取り組むと共に、少人数、T.T.指導、ICT活用等の工夫・改善をさらに行っていく。
3 児童理解・支援の充実	健やかな成長を常に基盤に据え、家族・地域社会・関係機関との密接な連携の基に、子どもの人権尊重と細やかな配慮で適切な指導に努める。	支援教育Coを核とした児童指導部会等で全教職員で児童の共通理解をし、問題の早期発見、未然防止に取り組んできた。今後も続けていく。	児童理解全体会は児童を共通理解し、教職員同士が互いに助言しあう大切な場であり、今後も大切にしたい。
4 道徳教育の充実	豊かな人間性の育成は道徳教育にある。職員一人一人がその意識をもって道徳教育に当たり、児童の道徳的実践力を高める。	副読本などの資料を活用し計画的に指導してきたが、規範意識の向上は見られるものの実際の行動に結びつかないこともあった。継続していく。	特別の教科・道徳の意義をしっかり認識し、指導法等の研修を行い、より一層の規範意識の向上を図りたい。
5 基本的な生活習慣の育成、確立	学校と家庭での連携をもとに、児童の基本的な生活習慣の育成に努める。	学校生活全般を通して、児童の基本的な生活習慣の育成に努めてきたが、今後も息の長い指導・支援をしていく必要がある。	日々の児童の様子を様々な方法で保護者に伝え、児童の健やかな成長のために連携してできることを一緒に考えていく。
6 健康・食育指導の充実	学校教育全般、健康安全指導、食育指導等を通して、自分の体は自分が作り守っていく意識と実践力を高めていく。	朝の健康観察や給食指導などで適切な保健指導を実施し、児童の安全確保を最優先に臨機応変に対応した。継続していく。	今後も、児童の主体的な健康意識、安全意識の向上を目指し、教育課程の中で指導していく。
7 防災教育等、安全教育の充実	防災組織や学校安全に係るマニュアルに従い、総合的な防災・安全対策、危機管理への意識を高め、避難訓練等の実践を通してさらに安全を担保できる児童の育成を図る。	避難訓練だけでなく、様々な機会をとらえて、自分の身を守るために考える態度を育成してきたが、今後も継続していく。	自分の身は自分で守るという意識を常に持ち、考え、行動することができるように、様々な機会をとらえて粘り強く指導・支援していく。
8 保護者、地域との連携	日頃より児童に関する情報等を保護者、地域と必要に応じてやり取りするなどして、児童を学校・家庭・地域の3者で共通理解のもと、見守り育てていくようにする。	学校便りを中心に保護者や地域に情報発信をし3者で児童を育てていく土壌を作ってきた。これからも継続して取り組んでいく。	学校・保護者・地域の連携は学校教育にとって欠かせないものであるため、今後も連携を密にして児童の指導・支援にあたっていく。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を進んでする児童が多いので嬉しく思っている。</li> <li>・学校で催す様々な行事などで児童の様子を見ている。児童が協力し合って活動したり、地域の方々に感謝の気持ちを表したりして落ち着いて学校生活を送っている様子がわかってよかった。</li> <li>・GIGA端末のさらなる活用を期待している。</li> <li>・「自分の身は自分で守る」教育を、地域や家庭でもバックアップしていく。</li> </ul>	<p>学校教育目標具現化に向けて全教職員で共通理解を図り取り組むことができた。指導の拠り所となる「中原プラン」の内容について職員会議で確認しながら随時よりよいものに改定し、若手や異動してきた教職員も同じ姿勢で児童指導や学習指導ができるようにした。支援教育Coを核とした組織体制が定着し、問題の早期発見・解決、未然防止に有効に働くようになってきた。今後も、地域、保護者、関係機関との連携を進めながら、児童が安心して楽しく学ぶことができる学校づくりに取り組んでいきたい。</p>